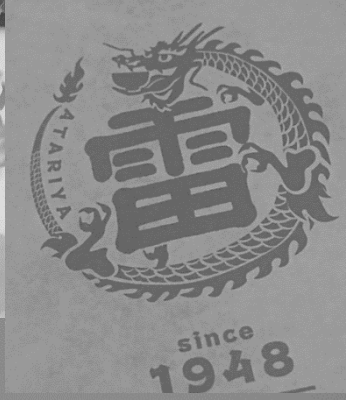


国文祭・芸文祭みやざき2020 さきがけプログラム
御池の龍伝説アートプロジェクトワークショップ



デイスカバリユへ、 龍を探る

龍ってなんだろう？ 都城と龍、南九州と龍のつながりは？
歴史、創作、街で見つけたもの、なんでもアリの90分。

【日時】2021. 3. 28(日)
10:30-12:00

【会場】オンライン (YouTubeでのライブ配信、事前申し込み不要)

※URL: <https://youtu.be/VqtVGRGyQps>



●ファシリテーター: 藤 浩志

●お話しする人:

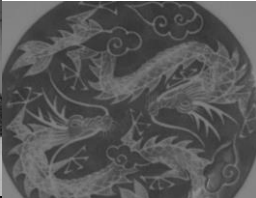
南九州のマイブに詳しい人、地域の歴史に詳しい人、
民話を語る人、まちなかを面白く語る人、龍を作ろうとしている人、
御池の龍伝説に詳しい人、龍のネタを集めている人、ほか(予定)

●イベント担当: 都城市立美術館・都城市立図書館

●お問い合わせ: 都城市立美術館 電話 0986-25-1447



ディスカバリュ〜、 龍を探る

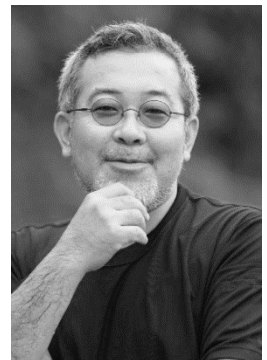


2021年の春から夏に予定されている、九頭龍の巨大インスタレーションを制作する「御池の龍伝説アートプロジェクト」に向け、プロジェクトを監修する現代作家・藤浩志氏と一緒に対話しながら「龍」に対するイメージを膨らませていくオンラインイベントです。

今までに都城市立美術館や都城市立図書館へ寄せられた情報をもとに、龍にまつわる地域の歴史や文化財、伝説や民話などをよく知る方々からお話を聞いたり、読み聞かせを行ったりします。

●ファシリテーター： 藤 浩志(ふじ ひろし)

鹿児島県生まれの美術家。秋田公立美術大学教授・NPO法人アーツセンターあきた理事長。地域資源や廃材を利用し、社会・地域・日常をテーマとしたアートプロジェクトや作品を数多く発表。「ヤセ犬」をモチーフとしたシリーズ(都城市立美術館蔵ほか)、いらないおもちゃを交換する「かえっこ」プロジェクト、おもちゃでできた「トイザウルス」、廃材でできた「龍」等多数のプロジェクトを展開する。今年開催される「御池の龍伝説アートプロジェクト」を監修。



●御池の龍伝説アートプロジェクトとは

霧島・御池に伝わる「御池の龍」伝説をもとに、藤浩志氏監修のもと、市民と一緒に龍について考え、「九頭龍」を作るプロジェクトです。インスタレーション制作という芸術活動での交流を通じて、地域文化の魅力を再発見してみましよう。

本プロジェクトは、「国文祭・芸文祭みやざき2020」(第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会)の分野別フェスティバル事業です。

会場：都城市立美術館、都城市立図書館

詳しくは都城市立美術館ホームページへ：



●主催：文化庁 厚生労働省 宮崎県 宮崎県教育委員会 都城市 都城市教育委員会
第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会
第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭都城市実行委員会
都城市美術展運営実行委員会

